

かしこくカーライフを楽しむためのコミュニケーションペーパー

# Keeper Fan!!

## Special Interview

### 阿川佐和子さんが語るクルマと日本

## ものを長期的に大事にしよう、大切に使おう…

## 日本の文化を見直す時代がきているのかもしれないね。

知的で聡明ながら、おちゃめでかわいらしい表情も見せる阿川佐和子さん。

これからのキーパーコーティングのイメージキャラクターとしてCMに登場していただきます。

クリスタルキーパーを体験していただき、クルマにまつわる思い出や日本のクルマ文化について、ときに鋭く、ときにユニークに語っていただきました。



### 男は顔では選びませんが、クルマは顔で選びます

今乗っているクルマは、2年前くらいに買いました。クルマはよく買い替える方です。男は顔では選びませんが、クルマは顔で選びます(笑)。顔に愛嬌があるクルマじゃないと好きになれないんです。以前乗っていたローバーミニはかわいかった。ビルの下の駐車場に置いて戻ってくると「長く待たせてごめんね〜、いい子で待ってた〜?」と話しかけたくなるくらい。それからわりと手間がかかるクルマが好きですね。「また何が嫌なの、おまえはっ。どうしてそこで壊れるのっ」て(笑)。あとは、そのときそのときの自分のライフスタイルに合ったものを選びますね。

### 「これ、私のクルマ?」と見違えそうになるほどキレイになりました

洗車はあまりしていません。時間ができたから洗車しようかなって思っても、天気予報を見ると次の日が雨っていうことが多くてや〜めたってなっちゃう。でも、汚いクルマで外出したときに限って、素敵な男性が「駐車場までお送りします」とおっしゃってくださるんですよね。「だらしのない女…」って思われているんじゃないかと思うとぞっとします(笑)。ですから、たまには洗ってワックスをかけなきゃいけないと決意した矢先、キーパーコーティングの話をしていただいてやめました(笑)。クリスタルキーパーしてもらっ



ピカピカになった車を見て「これ、私のクルマ?」と驚かれた阿川さん。キーパーコーティングのイメージキャラクターとしてのご活躍が楽しみです!

た自分のクルマを見たとき「これ、私のクルマ?」と見違えそうになるほどキレイになりました。ワックスとコーティングって全く違うものなんですね。黄砂や花粉のベトつきもコーティングしておけば、水洗いで取れてしまうと。はじめて知りました。すみません(笑)。

### クルマを買うというステータスシンボルが現代の日本人にも残っている

私の父は、乗り物が大好きで、まだそんなに乗用車が一般的ではなかった昭和30年代半ばに、クルマを購入しました。日野ルノーという日野自動車とルノー社がコラボしてつくった小さな4人乗りのクルマでした。父は運転席、母が助手席、私と2つ年上の兄が後ろに乗るんですけど、父はアメリカかぶれなところがあってね。信号のない交差点へ来ると「レフチェツ」と言う。母と私と兄は、左を確認して「クリア!」という。すると父が「ライチェツ」と続けて、私たちは右を確認して「クリア!」と言ったところで前へ進むという習慣がありました(笑)。当時は英語とは知らずに言っていました「Left check!」「Right check!」という意味だったんですよね。

その時代は「マイホーム・マイカー」という神話があって、家を買うのと同じようにクルマを買うということはステータスシンボルだったから、それが現代の日本人にも残っていてクルマを大事に乗る文化が残っていますよね。海外に行くと、汚くてぼこぼこのクルマとかタイヤが取れるんじゃないのっていうクルマに平気で乗っている国があります。駐車するときも人のクルマにぶつけないで止めるんです。バンパーはぶつけないためにあるんだって。クルマは移動手段という考えなんですよね。

### 「もったいない」文化を見つめ直す時代

これまで日本の経済は、スクラップ&ビルトで発展してきたし、家も壊れて建て直す方が経済効果が良かった。クルマだって3、4年で買い替えることが良しとされてきたと思います。使い捨て文化が普通になった今、震災を機に日本人の価値観は変わってきました。多少不便でも



インタビュー当日は、CM撮影の日。撮影の間、スタジオの駐車場で阿川さんのクルマにクリスタルキーパーを施工させていただきました。

もっと大事にすべきことがあるんじゃないかと考える人が出てきています。節電もやってみれば意外にできるものなのだなと感じました。だから今、ものを長期的に大事にしよう、ものを大切に使おうという「もったいない」文化を見つめ直す時代がきているんじゃないでしょうか。クルマに対する価値観も「3、4年で乗り換える」から「長くキレイに乗る」へと変化しているから、クリスタルキーパーの人気が上がってきているんじゃないかな。

私の出演しているCMを通じて、もっと多くの方にキーパーコーティングを知っていただければうれしいと思います!



阿川佐和子(あがわ・さわこ)  
東京都生まれ。作家・阿川弘之の長女として生まれる。テレビ番組でリポーターを務めたのを皮切りに、ニュースキャスターを務めた後、タレントとしてバラエティ番組でも活躍。その他、インタビュアー、作家としても評価が高い。